



講座だより



【プログラムの予行の様子】

令和3年11月20日（土）に『養成コース第8回』を実施しました。前回に引き続き森林環境教育プログラムの企画と予行（リハーサル）です。講師も第7回と同じく認定NPO法人 しずおか環境教育研究会の柴崎千賀子氏とホールアース自然学校の角田周一氏です。前回から2週間という短い準備期間でしたが、受講者を参加者の子どもに見立て、互いに考えたプログラムの実施を行いました。

【午前】森林環境教育プログラムの予行

午前中は前回から企画をしているプログラムの予行（リハーサル）を行いました。最初に講師の角田氏よりフィードバックの大切さについて講義を行い、その後、フィールドに出てプログラムを実施しました。これまでの講義を活かして、小道具のフリップを用意していたり、役割分担やキャラクター設定をして臨むグループなど様々な工夫がされていました。プログラムの実施ごとにフィードバックシートを記入し、参加者の視点で良かった点や改善点をアドバイスし合い、プログラムを修正する際の参考にしました。



【プログラムの予行の様子】

【午後】森林環境教育プログラムの企画（修正）

【プログラムの修正作業の様子】



午後は、フィードバックシートを見ながらグループでプログラムの改善作業を行いました。扱う素材を見直すグループや、更に構成を工夫するグループなど、講師のアドバイスを受けながらどのグループも熱心に実習に取り組んでいました。受講者からは、考えたプログラムを実際にやってみることで、足りなかった部分や改善点が分かり、良かったという声が多く聞かれました。また講師の柴崎氏からは、参加者の視点でプログラムを見つめ直し、体験している子どもが楽しいかどうか考えることが大切であると講評がありました。

＜発行元＞